

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月18日		記入者		内線	3813
部 名	消防本部	課 名	救急対策課		課長名	永瀬和昭
事務事業名	救急活動支援事業					
予算上の事務事業名	救急活動費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします					
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度	
施 策 名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消防法第35条の5(救急業務)					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
救急活動に必要な資機材を整備し、常備消防の充実を図る。					市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
16年中の救急活動状況						
救急出動件数	24,820件					
救急搬送件数	23,002件					
救急搬送人員	23,524人					
救急業務用品を6月、10月、2月の3期に分けて購入し各救急隊に配布した。						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	18,509	19,179	14,965	15,616	16,000	
一般財源	18,509	19,179	14,965	15,616	16,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	0	0	0	
事業コスト合計(a)	18,509	19,179	14,965	15,616	16,000	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	救急活動用品の購入			対象名称 (単位)	搬送者数(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	10,902	12,003	13,659	15,311	17,163	
対象数	22,502	23,146	24,044	24,933	25,856	
単位あたり経費(円)	484	519	568	614	664	
前年度比		1.07	1.10	1.08	1.08	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	救急出動数(件)		指標式と指標の説明	救急車要請件数 / 救急出動件数（データは年中）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	22,627.0	24,294.0	24,820.0		
目標	22,627.0	24,294.0	24,820.0	25,341.0	25,873.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	救急出場率(%)		指標式と指標の説明	救急車要請件数 / 救急出動件数 × 100（データは年中）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	22627.0	24294.0	24820.0		
目標	22627.0	24294.0	24820.0	25341.0	25873.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		救急件数増加の観点からも事業の充実を図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 質の高い救急業務を遂行するため、救急高度化に対応する資機材を配置していく。			14 課題として認識されたこと 高度救急資機材使用に伴う病院研修等の増加。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		消防力整備計画の見直しを図る。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			